

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいあいの家 ひかり		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 30日		～ 令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	84	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日		～ 令和7年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への丁寧な説明や、いつでも育児についての相談ができる	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の様子が常に気を配り、必要に応じて声をかけている。 保護者の質問には常に応じ、具体的なアドバイスをしたり、希望があれば個別面談の時間を設け、ゆっくり話を聞くようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、常に話し合える機会を作っていく。 職員とだけでなく、保護者同士が交流できるような場を、定期的に提供していきたい。
2	子どもは楽しみに通うことができ、保護者も安心して通うことができている。	<ul style="list-style-type: none"> 利用する子どもひとりひとりの状態を、関わる職員みんなで共有・把握し、個々に応じた支援をしていく。 子どもの発達・興味に沿ったプログラムを提供できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「楽しい」を引き出すような工夫や関わり方、プログラムの内容について、職員同士で更にアイデアを出し合えるような話し合いの時間を作っていく。
3	木造の広々とした過ごしやすい空間と、プログラムに応じた部屋がある。	<ul style="list-style-type: none"> 利用する子どもが過ごしやすい空間になるよう、必要以上の装飾はせず、シンプルな空間作りを心がけている。 乳幼児も過ごすので、床はもちろん施設全体を拭き掃除し、清潔さを保つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設を地域交流の場として、貸し出していく。 当施設のイベントや地域活動にも、施設を利用できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や、保育園・幼稚園など、他施設との交流の場が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 週末には施設を開放しているが、利用者や地域に周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSなども効果的に使い、利用者や地域に知らせていく。 職員ひとりひとりが共生の意識を持って、イベントの開催や参加をしていく。
2	ペアレントトレーニングなどの家族支援のプログラムが、導入されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりの保護者には、丁寧に対応しているが、親同士の交流や保護者の学び合いの機会が少ないと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流の場や、保護者向けの研修会を増やす。 母親だけでなく、父親のための勉強会などを企画していく。
3	研修はやっているが、もっと多く研修の機会がほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 全体研修は計画的に行ってきたが、個別療育における療育内容の具体的な研修が少なかったと職員が感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のスキルアップの意識を高め、事業所としての研修の場も増やしていく。